

令和6年度、事業報告

令和6年4月1日～令和7年3月31日

公益財団法人 冬青舎中村家保存会

代表理事 中 村 日出男

1 現況

(1) 事業

定款に掲げる事業は次のとおりである。

- 一 中村家住宅及び当家関係資料（収蔵品を含む）・文献の保全・管理・活用（貸出・展示を含む）に関する事業
- 二 中村家とそれに関わる北前船の歴史・文化の調査・研究に関する事業
- 三 中村家住宅と北前船文化の紹介と啓蒙に関する事業
- 四 その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

(2) 役員（令和7年3月31日現在）

代表理事	中 村 日出男	（中村家当主）
理 事	師 田 一 郎	（元（社）福井茶の湯同好会理事長）
理 事	岩 原 正 吉	（金沢大学名誉教授）
理 事	吉 江 勝 郎	（元（学）富嶽学園日本建築専門学校校長）
理 事	林 雅 則	（元福井県立大学理事長）
理 事	山 形 裕 之	（元福井県立歴史博物館副館長）
理 事	河 野 通 亜	（武生特殊鋼材株式会社会長）
理 事	北 野 徹	（南越前町副町長）
理 事	辻 正	（株式会社チャンピオ辻万会長）
理 事	右 近 恵	（河野北前船研究会会長）
監 事	山 川 均	（山川法律事務所弁護士、公認会計士、弁理士）

(3) 評議員（令和7年3月31日現在）

中 村 由利子	（中村家親族）
山 中 剛	（中村家親族、ソニー勤務）
山 中 友 子	（中村家親族、元大和証券勤務）

2 理事会及び評議員会等

(1) 理事会

- ・第38回決算理事会（令和6年6月2日開催）

決議事項：

- 第1号議案：令和5年度、事業報告、承認の件
- 第2号議案：令和5年度、貸借対照表、正味財産増減計算書、
財務諸表に対する注記、並びに財産目録、承認の件
- 第3号議案：新理事候補者、推薦の件
- 第4号議案：評議員会の招集の件
- 第5号議案：管理業務委託契約書、調印の件

- ・第39回理事会（令和6年6月16日開催）

決議事項：

- 第1号議案：代表理事、選任の件

- ・第40回理事会（令和6年11月17日開催）

報告・審議事項：

- ① 保存修理の進捗状況
- ② 公開・活用の進捗状況
- ③ その他の進捗状況
- ④ ④今後の活動方針について

- ・第41回理事会（令和7年1月7日開催）

決議事項：

- 第1号議案：令和7年度事業計画書並びに収支予算書等、承認の件

(2) 評議員会

- ・第14回定時評議員会（令和6年6月9日開催）

決議事項：

- 第1号議案：令和5年度事業報告、承認の件
- 第2号議案：令和5年度計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書）、
財務諸表に対する注記、並びに財産目録、承認の件
- 第3号議案：新理事、選任の件

3 事業実施の概要

(1) 当家住宅の保存修理事業

当家住宅保存修理事業は、平成30年6月より国の補助事業として開始し、(一財)京都伝統建築技術協会が設計監理、(有)山本製材が工事施工を担当して工事を進めてきた。

平成30年度は背戸蔵、令和元年度は背戸蔵、新蔵、主屋の工事を実施、令和2年度は新蔵、主屋工事、及び追加の屋根工事を実施した。

令和3年度は主屋工事、屋根工事及び新座敷3階軒裏修復工事などを実施し、主屋については概ね工事を完了した。

令和4年度からは西側土蔵群の修理を開始し、西蔵、バング蔵、前蔵、米蔵の屋根・軸部・壁工事、浜蔵・塩物蔵の屋根・軸部・壁工事を並行して行った。

令和5年度は、令和6年4月予定の主屋の一般公開開始に向けて、南北の袖門・塀、及び北東の門・塀の修理・設置に取り組むとともに、引き続き西側土蔵群の修理に取り組んだ。

令和6年度も西側土蔵群の修理を継続実施したが、米蔵補修において想定外の軸組損傷が発見されたため文化庁と協議、計画変更して半解体修理を行うこととなった。

これにより、が当初の工事終了予定を令和7年度から令和10年度頃に延期せざるを得ない見通しとなった。

(2) 当家住宅の公開・活用

上述のとおり、主屋の保存修理事業については令和5年度をもって完了し、防災設備整備事業(消火設備)についても令和4年度より2か年計画で防火水槽設置や消防ポンプ室、屋内消火栓設置などの工事を行った。

公開活用事業についても、平成31年度から令和2年度に亘り策定した保存活用計画に基づき、令和3年度以降、給排水・電気・トイレ等の便益施設、展示施設・庭園などの整備を実施し、令和5年度中に主屋に関する全ての事業を完了して一般公開開始の準備を整えた。

尚、当家住宅の運営・管理については、南越前町と法人の間で「管理業務委託契約書」を締結・調印し、町に管理委託することとした。

本年4月27日、南越前町と当法人の共催により「中村家住宅開館記念式典」を開催し主屋の一般公開をスタートさせた。

10月から12月にはJRの北陸デスティネーションキャンペーンと連動して、3階望楼の特別公開を実施し好評を得た。

また継続する西側土蔵群の修理現場については、11月6日に武生商工高

校の生徒達の現場見学会、12月1日には「文化財修理技術者向け現場見学・研修会」などの利用を予定し、文化財修理の学習や修理技術者養成のサポート協力を行った。

(3) その他の進捗状況

① 収蔵品調査

平成28年12月以降、南越前町及び県立歴史博物館のご協力のもと、当家住宅公開時の収蔵品等の展示に向けて収蔵品調査を開始し、毎月1回ペースで調査を実施してきた。

コロナ禍の影響で令和2年3月以降一時中断したが、令和4年度4月より調査を再開し、一般公開に向けて展示品の選定・準備などを行った。

今後は一般公開の展示品の入替選定を行うとともに、調査済み収蔵品の整理・分類及び再調査などにより収蔵品の価値の再評価が課題となる。

② 当家文書の調査・研究

当家文書は平成28年3月に中村家文書調査委員会により約3万5千点の目録を作成、令和元年12月に町の当家文書専用収蔵庫に保管が完了し、令和3年には仮分類のままとなっていた保管文書の正式分類作業も行った。

今後は当家文書について、目録作成済文書の電子化、追加収集文書の目録作成・電子化を推進するとともに、各地の研究者との連携を図り当家文書への研究着手を促進して当家住宅の発信力を高めるよう努める。

尚、本年度は2月22日に南越前町主催により「中村家住宅開館記念講演会」を開催、小樽商大：高野宏康講師より中村家・右近家など河野の北前船主の明治～近代にかけての活躍に関する文書調査の成果について発表され、約80名が参加・受講した。

③ 観光資源としての活用推進

新聞や雑誌、テレビ、JRキャンペーンなどへの協力を通じ当家住宅の情報発信を行っているが、令和6年度は10～12月のJR「北陸デスティネーションキャンペーン」に協力して情報発信を行った。

また11月23日開催の「北前船寄港地フォーラム in 福井」に出席し、他の寄港地・船主集落や関係機関との連携を通じて地域振興につなげる取り組みに参加すると共に、当家住宅を見学ルートに織り込んだエクスカージョンイベントを通じて構成文化財としてのアピールを行った。

(4) 公益財団法人活動

当法人は、平成31年3月29日付にて公益財団法人の認定を受け、平成

3 1年度（令和元年度）より公益法人活動を開始している。

- 当法人の主たる公益目的事業である当家住宅・収蔵品の公開活用の実施については、令和6年4月より主屋の一般公開を開始した。
継続中の保存修理事業についても「工程会議」を月1回以上開催し、きめ細かい進捗管理と論議を共有することで適切な文化財保存の実現に取り組んだ。
- 法人決算については、令和5年度決算について、第38回決算理事会、並びに第14回定時評議員会に決算書類を上程・審議し、承認を得た。
尚、決算内容については、公益法人遵守基準である収支相償、公益目的事業費比率、有休財産保有制限のいずれの基準にも適合していることを確認している。
- 公益法人として義務付けられた行政庁報告については、令和5年度事業報告・決算を6月10日、令和7年度事業計画・収支予算を1月23日に電子報告し届出を完了した。
- 定款により本年6月を以て全理事が任期満了となるため、予め推薦された候補者の就任承諾を得て6月9日の定時評議員会にて新理事を選任、6月16日の理事会にて代表理事を選任した。
- 令和元年度より法人のホームページを作成し、定款、役員名簿、事業計画・収支予算、事業報告・決算等の情報をネットに掲載しているが、本年度も令和5年度事業報告・決算、新役員名簿、事業計画・収支予算等のホームページ掲載情報の更新を行った。

以上